

学校施設整備指針改訂の概要（平成 31 年 3 月 文部科学省）

これからの小・中学校において充実すべき施設機能（抜粋）

1 新学習指導要領への対応

(1) 新たな教科等への対応

小学校における外国語科の導入、プログラミング教育、等

(2) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を促す施設整備

- ・多様な学習活動に対応できるオープンスペースや家具
- ・対話や発表をしながら学習を進めるためのラーニング・コモンズの整備
- ・学校図書館とコンピュータ室の融合
- ・一斉授業にも少人数学習にも対応できる自由度の高い普通教室

(3) カリキュラム・マネジメントの一貫としての環境整備

施設整備のみならず、「活用」「改善」の一連の視点から、活用方法や収納場所も含め、カリキュラムの実施をコーディネートし、効果的にマネジメントできる学習空間

2 ICTを活用できる施設整備

3 インクルーシブ教育システムの構築に向けた取組

特別支援学級と通常学級が自然に交流できるような配置

4 教職員の働く場としての機能向上

- ・教職員の執務環境としてふさわしい基本的な機能
- ・チーム学校として運営を進めるため、多くの関係者と連携・交流ができる環境

5 地域との連携・協働の促進

(1) 多様な人材の参画による学校運営の推進

教員以外の多様な人材による学校運営への参画のための執務・作業・情報交換のスペースの確保

(2) 地域の拠点としての施設整備

- ・長期的な視点からの公共施設の更新・統合・長寿命化の実施による財政負担の軽減・平準化、配置の適正化の実現
- ・複合施設における、施設管理の組織や運営方法、施設管理方法に合わせた室の配置、機能

(3) 放課後の児童の居場所確保

「新・放課後子ども総合プラン」での目標を達成するための放課後の子どもの居場所・遊び場として学校施設の積極的な活用

6 学校施設の機能向上

(1) 建築物としての性能向上

- ・地域の拠点としての安全性、快適性、機能性、社会性、経済性等、基本的な建築性能の確保・向上
- ・日照・採光・通風等への配慮および地域性や省エネルギーへの考慮を前提とした、冷暖房設備等の導入の検討
- ・断熱性など省エネ性能の向上および良好な室内環境確保のための適切な換気方法の導入

(2) 防災機能の強化

- ・大型車両の通行幅および作業スペースの十分な確保
- ・避難所機能としての冷暖房設備の導入を視野に入れた温熱環境の改善方策の検討
- ・災害時の地域住民への施設開放を想定したセキュリティ対策

7 変化に対応できる施設整備

将来の教育活動の変化や、地域の拠点としての役割の変化に対応できる、増築や改修等が可能となる配置計画および変更可能な室の区画や仕上げ等、可変性の高い施設整備手法の採用